

日 時： 2025年7月14日（月）13時30分～15時00分  
場 所： おいでやすコスモス103

出席者				内容
利用者家族	0名	地域住民・代表者	3名	1.現況報告（資料①）
包括支援センター	1名	合計	6名	2.前回会議以降の活動と今後の予定(資料②)
高齢介護課	1名	欠席者	3名	3.意見交換
介護事業に 知見を有する者	1名	職員 (理事長・事務局長)	2名	
1.現況報告	資料①に沿って、事務局長が説明 ・ 利用人数が減少しているのは、死去や在宅が困難になりグループホームへの入居などが相次いだため。 ・ 7月に新規で1人増となった。お試し1件。退院し利用再開1件。 ・ ひとり暮らしの利用者さんのエアコン利用(室温調整)と、水分補給の対応に注力している。			
2.前回以降の活動と今後の予定	資料②にそって、事務局長が説明 質問 ・ めくって帳は、お年寄りにどのような形で届くのか➡支援者の中での共有理解するもので紙ベースに。 質問 ・ 情報は市役所に行けば教えてもらえるのか➡二層協議体が作成し活用するので外部には出ない。 質問 ・ 二層協議体とは➡中学校区4つに分かれて地域の課題を聞き、包括が地域の特性をすくいあげていく。 地域の課題解決や支えあい活動を推進するための協議体のこと。 意見 ・ コスモスの利用者が減少、チラシ配布をしたらどうか➡チラシ2種類(一般向け、関心ある方向け)作成中。 民間の地図、電話帳に広告を出すよう動いている。8月30日の就労フェアにも出す予定。 情報 ・ 過去の紹介一覧表(履歴)より、現在は病院からの紹介が多いことがわかる。 情報 ・ 病院の地域支援課で、あまり小規模多機能型(小多機)を知らない事がわかった。 意見 ・ グループホームは地域密着でない為、他県からは入れない。その様な方の受け皿に、小多機があると思う。 細かい所の打ち合わせ(宿泊等)については、各施設と話すようにする。 意見 ・ 西山地区は高齢化率が極めて高い。チラシ配布効果があるかも。 情報 ・ オレンジカフェは、なぜ「カフェ」 ➡地域で自由に認知症について話せる場所にする。 質問 ・ 補助金はあるのか➡交響プロジェクト(京都府)より補助金を取っている。強制ではなく理想的である。 意見 ・ 橋本地区でも、美杉会と一緒に民生委員参加で開催している。本来ならば地域の方が、やりたいことで 集まり、そこへ包括が入るのが理想である。掲示板で募集、予約制である。 質問 ・ コスモスオレンジカフェのチラシを、掲示板に貼れないか➡市と連携(委託業務)とすれば貼れる。 質問 ・ 八幡市は介護者の交流はあるか➡家族交流会(年2回)バスで温泉旅行などある。対象家族に通知がある。 意見 ・ 共同作業所でコロナが8人発生。見学が取りやめになった。 意見 ・ 障害者地域生活支援拠点「れい」を訪問。共同作業所の理念に基づいた事業を行っている。 意見 ・ コスモスは、いつ来ても対応が細やかである。職員が替わっても対応が引き継がれている。 意見 ・ 職員が利用者さんに対して対応が丁寧であり、利用者さんを思っている創意工夫がされている。 ➡職員も働きやすく退職者が出ない。入れ替わりがあっても思いは引き継がれている。 意見 ・ 田舎でも技能実習生が就業し、黒字経営である。都会ではスカウト合戦が行われている。 ➡コスモスの年休率は100%。福利厚生なども、差を設けていない。職員の定着率はとてもよく、退職者が ほとんどいない。認知症カフェは創業当時から力を入れてきた取り組みだ。 ➡人材会社から外国人職員の紹介があるが、高額である。 意見 ・ 熱中症が気になりである。トイレも気になり水分も控えているようだ。エアコンの使用を呼び掛けている。 意見 ・ 初めてコスモス男山へ来たが多くの研修に参加しているなど色々な取組をされていることがよくわかった。 離職率が低いのもわかる。			
※次回 2025年度 第3回運営推進会議の予定 9月8日月曜日 13：30～15：00				